



# 尼崎市立立花中学校 学校だより

令和5年度1月号

強く生き、正しく考え、優しく関わる立中生

## 『遠きに行くには必ず近きよりす』

校長 前田 裕司

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。  
2024年がスタートしました。今年の十干は「甲（きのえ）」、十二支が「辰（たつ）」の年にあたるので、干支は「甲辰（きのえたつ）」になります。「甲」は十干の最初に出てくるもので、物事の始まりを表しています。他には、優勢であることやまっすぐに堂々とそそり立つ大木を表しています。「辰」は十二支の中では唯一の架空の生き物の龍（竜）を意味します。水や海の神として祀られてきた龍は、竜巻や雷などの自然現象を起こす大自然の躍動を象徴するものであり、「龍が現れるとめでたいことが起こる」と伝えられてきました。この2つの組み合わせである「甲辰」には、「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」といった縁起のよさを表しています。



今年1年が皆さんにとって「新たなことをスタートする年」「成功という芽が成長する年」となるように願っています。

そして、今年は皆さんには「柔軟な発想と自分で判断できる強い人となる」ということを意識して欲しいと思っています。

今年は、元旦から能登半島を中心とした大きな地震が起こり、被害の状況がわかるにつれて心が痛くなります。台風を含めた自然災害は毎年のように各地で起こり、世界では紛争が起こっている地域もあり、新型コロナウイルスの感染症の流行や我々が予測不可能なことがいつどこで起きるのかわかりません。また、情報化をはじめとした世の中は、急激なスピードで変化しています。様々な事象が社会や学校生活に大きな影響を及ぼしている中で、我々の生活や学習についても日々変化しています。ただ、私たちは、その変化や情報に流されることなく、柔軟な発想を持ち、その中で自分なりの判断をしていくことが求められています。そして、「強い人となる」というのは単に力が強いとかケンカが強いという意味ではなく、困難な状況に陥っても、前を向き、知恵を出し合い、決して諦めることなく、周りの人と協力しながら進んでいくことが「強い人となる」ということです。

中国の「礼記」中庸の中に『遠きに行くには必ず近きよりす』という言葉があります。物事を行う場合は、順序を踏んで着実に進めなければならないという意味です。柔軟な発想と自分で判断するためには、基礎基本を疎かにせず、自分の足元を

固めることが大切です。日々の学習に真剣に取り組むとともに、自分自身の命を大切に、周りの人を思いやり、人と人の繋がりを大切にして、夢と希望をもって一歩一歩進む強い人となる1年にしてほしいと思っています。

## 1 月 月 中 行 事 予 定

日	曜	行 事
1	月	
2	火	
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	成人の日
9	火	始業式、生徒会承認式
10	水	専門委員会
11	木	1, 2 年あまっ子ステップアップ調査
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	逆時間割

日	曜	行 事
16	火	
17	水	
18	木	
19	金	避難訓練
20	土	
21	日	
22	月	
23	火	
24	水	
25	木	オープンスクール(午後)
26	金	新入生説明会
27	土	
28	日	
29	月	朝礼
30	火	
31	水	

### 表彰報告

兵庫県新人バスケットボール競技大会 準優勝



尼崎市中学校給食献立コンクール

【教育長賞】  
2年 Yさん



【優良賞】  
3年 Kさん

